

ちゅうりっぷだより



令和4年6月24日
川口市立舟戸幼稚園
年少ちゅうりっぷ組

梅雨空が気になる時期になりました。晴れた日には、子供たちは園庭での遊びを楽しみにし、太陽の日差しを満喫しながら遊んでいます。入園してから3ヶ月が経ち、子供たちは好きな遊びに取り組んだり、友達と一緒に遊んだりするなど、幼稚園生活を喜んで過ごしています。それぞれの気持ちによりそった丁寧なかかわりを心がけ、一人一人が安心して過ごせるように配慮していきます。



クレヨンで描こう

好きな遊びの中で、大きな紙にクレヨンで絵を描いたことをきっかけに、色々な色に興味をもち始めました。「私のクレヨンあるよ」と自分たちのクレヨンを使って、お絵描きを楽しんでいます。洗濯機のお絵描きでは、色々な色を使って「ぐるぐるぐる」と言いながら、洗濯機の中でお水が回っている様子を描きました。後日「お洗濯したお洋服が出てきたよ」と伝えると、「わぁ、可愛い」「私ピンクがいい」「ぼくは、青のズボンだ」と自分の好きな色の洋服を選び、そこに似合う色を使い「私、丸を描いたよ」「僕、自分の顔描いたんだ」と、イメージを膨らませながら、色々な色で描いていました。出来上がると、みんなの前でファッションショーが始まりました。「早く僕のもみんなに見せたい」と喜んでお友達に自分の洋服を見せ、友達が拍手をしてくれると、大満足な顔をしていました。次の日から、好きな遊びの中でも自分でクレヨンを持ってきて、友達と絵を描いたり、色を塗ったりすることを楽しむようになりました。クレヨンを大切に使うことを知らせながら、自分が表現したいことをのびのびと表せるように援助したいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

砂場で温泉をつくろう

砂場で大きな山や温泉をつくっての水遊びや、ベビーバスでカップやひしゃくを使ってカメすくいをするなど、いろいろな方法で水に親しんでいます。その中で、水の心地よさや、砂の感触を十分に味わえるように配慮しています。「冷たい」「気持ちがいいね」「トロトロしているよ」など、子供たち一人一人のつぶやきに共感したり、友達のしていることに興味もてるように、教師も遊びの仲間入りをしたりしながら、「温泉できたよ。一緒に入らない？」など、それぞれの遊びをまわりの友達に知らせたりしています。

砂場でのごちそう作りでは、本物のお鍋を使って砂と水を混ぜながらその感触を楽しんでいます。「おいしそうだね。どんなごちそうができたのかな？」と尋ね、自分なりのイメージをもったり、それを言葉で表したりしていけるように援助しています。温泉づくりでは、遊具をつなげて水が通る道を作り、「ここに水を流そう」と水を流すと、「やったー」と大喜びし、水が入った温泉に友達と入りながら「キャー、冷たいね」「気持ちいいね」と友達と喜びを共有していました。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 好きな遊びを通して、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな素材や用具に触れて、使ったり遊んだりする楽しさを感じる。
- 水の感触や気持ちよさを感じながら、夏ならではの遊びを楽しむ。
- 夏の生活の仕方を知り、自分でできる身のまわりのことを自分でしようとする。

